

晩生良食味の普通期水稻新品種「鹿児島5号」の特性

若松謙一・吉田典夫・安庭 誠・加治屋伸章¹⁾・神門達也¹⁾・竹牟禮稜¹⁾・四蔵文夫²⁾・田之頭拓・園田純也³⁾
 (鹿児島県農業試験場¹⁾ 鹿児島県農業試験場徳之島支場²⁾ 鹿児島県農業試験場熊毛支場³⁾ 伊佐農業改良普及センター)

Ken-ichi WAKAMATSU, Norio YOSHIDA, Makoto YASUNIWA, Nobuaki KAJIYA,
 Tatsuya KAMIKADO, Minoru TAKEMURE, Fumio SHIKURA, Taku TANOGASHIRA, and Junya SONODA :
 Agronomic Characters of New Rice Cultivar "Kagoshima 5"

鹿児島県の普通期栽培地帯では、早生の「ヒノヒカリ」、中生の「かりの舞」、晩生の「ミナミヒカリ」が作付されている。しかし、食味の面で「ミナミヒカリ」の流通評価は低下してきており、品種による労力の分散が図りにくい現状にある。このため、晩生の栽培特性の優れた良食味品種の育成が強く要望されていた。この要望に応える品種として、2000年に鹿児島県農業試験場は、晩生の良食味多収の水稲新品種「鹿児島5号」を育成した。ここに本品種の育成経過および特性概要を報告する。

1. 来歴および育成経過

「鹿児島5号」は1991年、鹿児島県農業試験場において、晩生、良食味、多収性を育種目標として、晩生、良質の「南海62号」を母、良食味の「ヒノヒカリ」を父として交配を行った組合せに由来する。F₂までを集団で養成し、F₃で熟期、草型、外観品質による個体選抜を行い、以後系統育種法により選抜と固定を図った。

1996年からは「KG48」の系統番号で、特性検定試験および生産力検定試験に供試した。1997年から「鹿児島5号」の地方系統名で奨励品種決定基本調査、翌年からは現地試験にも供試して県内での地域適応性を検討し、2000年8月に鹿児島県の奨励品種として採用された。

2. 特性の概要

1) 形態的特性: 「かりの舞」と比較して、稈長および穂長は同程度、穂数は多く、草型は「偏穂数型」である。生育期間の葉色はやや濃く、止め葉は直立し、草姿は良好である。ふ先色および顔色は黄白で、初は稀に短芒を有する。粒着密度は「中」で、脱粒性は「かりの舞」並みの「中」である。

2) 生態的特性: 出穂期は「かりの舞」より2日、成熟期は5日遅い「晩生」に属する。耐倒伏性は「かりの舞」並みの「強」である。いもち病真性抵抗性遺伝子型は *Pia*, *Pii* と推定され、圃場抵抗性は、葉いもち抵抗性は「やや弱」、穂いもち抵抗性は「中」である。また、白葉枯病抵抗性は「中」である。収量性は高く、「かりの舞」より多収である。

3) 品質・食味特性: 玄米の形状は「中」で粒の大きさは「中粒」である。「かりの舞」に比べて心白・乳白発生率が低く、白度が高く、外観品質は明らかに優れる。炊飯米は、光沢に富み、粘りが強く、食味の総合評価は「ヒノヒカリ」並みの「上中」である。

3. 地域適応性

暖地の普通期栽培地帯に適している。鹿児島県内の晩生品種として「ミナミヒカリ」および「かりの舞」の一部に替わって普及が見込まれる。

4. 栽培上の留意点

葉いもち抵抗性がやや弱なので、発生に注意し、適期防除に努める。また、食味の面から、多肥栽培は避ける必要がある。

第1表 「鹿児島5号」の特性一覧表

| 系統名または品種名 | 鹿児島5号 | かりの舞 | ヒノヒカリ |
|------------------------|----------------------------------|-----------------------|----------------------------------|
| 早 晩 性 | 晩生の晩 | 中生の晩 | 中生の中 |
| 草 型 | 偏穂数型 | 偏穂重型 | 中間型 |
| 出穂期 (月・日) | 8.30 | 8.28 | 8.21 |
| 成熟期 (月・日) | 10.20 | 10.15 | 10.4 |
| 稈長 (cm) | 79 | 79 | 85 |
| 穂長 (cm) | 19.2 | 19.0 | 19.4 |
| 穂数 (本/m ²) | 404 | 345 | 402 |
| 芒の多少・長短 | 稀・短 | 稀・短 | 稀・短 |
| ふ先色 | 黄白 | 黄白 | 黄白 |
| 脱粒性 | 中 | 中 | 難 |
| 穂発芽性 | やや難 | 難 | 難 |
| 耐倒伏性 | 強 | 強 | やや弱 |
| 葉いもち (推定遺伝子型) | やや弱 (<i>Pia</i> , <i>i</i>) | やや弱 (<i>Pii</i>) | やや弱 (<i>Pia</i> , <i>i</i>) |
| 穂いもち | 中 | 中 | やや弱 |
| 白葉枯病 | 中 | 中 | やや弱 |
| 玄米重 (kg/a) | 59.9 | 57.1 | 55.0 |
| 同上標準比率 (%) | 105 | 100 | 96 |
| 玄米千粒重 (g) | 21.9 | 22.5 | 21.2 |
| 品 質 | 上中 | 上下 | 上下 |
| 食 味 | 上中 | 上中 | 上中 |

注) a) 育成地における1997~2000年の標肥栽培の成績
 b) 移植期は6月12~14日で、移植は稚苗の3本/株で行った

第2表 日本穀物検定協会による食味試験 (1999年)

| 産地 | 品種 | 外観 | 香り | 味 | 粘り | 硬さ | 総合 | 95%信頼範囲 |
|-----|-------|------|------|------|------|-------|------|---------|
| 滋賀県 | 日本晴 | ±0 | ±0 | ±0 | ±0 | ±0 | ±0 | |
| 菱刈町 | かりの舞 | 0.15 | 0.05 | 0.30 | 0.25 | -0.35 | 0.30 | ±0.248 |
| 菱刈町 | 鹿児島5号 | 0.25 | 0.15 | 0.55 | 0.50 | -0.30 | 0.55 | ±0.248 |